

これからが夏本番 皆さん暑さへの備えはできましたか



JALしもつけ



毎月18日は「3食ごはんの日」

夏の日差しをたっぷり浴びた 夏野菜で栄養チャージ



都賀地区女性会パッチワークタペストリー作り

特集

しもつけ



第25回通常総代会を開催

...2

新役員体制紹介

...4

JALしもつけでは、組合員の皆さまとの積極的な対話活動に取り組んでいます。JAに関することや日々のくらしや営農のことなど、職員が広報誌をお届けに伺った際は、お気軽にお話しください。

ホームページ



facebook



instagram



<http://www.ja-shimotsuke.jp/>

役員改選にかかる議題を含む全8議案を承認

第25回通常総代会を開催

5月28日、栃木市栃木文化会館大ホールで第25回通常総代会を開きました。総代467人（うち委任状による議決権行使書295人含む）が出席。合計8議案を慎重審議し、全議案ともに承認されました。

また、総代会後の臨時理事会・監事会において、常勤役員と代表監事を選任。長昌光代表理事組合長をはじめ常勤役員4人が再任しました。また、代表監事に藤岡地区の大橋博氏が就任しました。



再任のごあいさつ
代表理事組合長 長昌光

この度の役員改選で、代表理事組合長に再任いたしました。新たな任期の始まりにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

昨今の農業を取り巻く情勢は、ロシアのウクライナ侵攻や中東での紛争に端を発する物価の高騰や、国内では組合員の高齢化、特に正組合員の減少による組織基盤・農業生産基盤の変化など、世界的な食料安全保障への意識の高まり等を背景に、JAが果たすべき役割は、より大きく変わっていくものと考えます。

今後も組合員の皆さま方との対話を基軸に、地域に根ざした農業協同組合として「農業者の所得増大」「地域の活性化」「経営基盤強化」に取り組みます。そして、相互扶助の理念に基づき、組合員の営農と生活を守り、必要とされる協同組合であり続けるため「不断の自己改革」を実践してまいります。引き続き全力を挙げて職務に邁進する所存でありますので、皆さまの変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総代会提出議案

第1号議案
【報告事項】

令和5年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書の内容並びに会計監査人の監査報告及び監事の監査報告について

【決議事項】

令和5年度事業報告及び剰余金処分案の承認について

第2号議案

目的積立金の積立目標額・取崩基準の変更について

第3号議案

目的積立金の廃止及び創設について

第4号議案
第5号議案
第6号議案
第7号議案

定款の一部変更について
令和6年度事業計画の設定について
役員選任について
退任理事及び監事に対する役員退任給与金の支給について
令和6年度理事及び監事の報酬について

第8号議案

特別決議

食料安全保障の強化に向けた基本農政の確立および実践に関する特別決議

報告事項

「JAバンク基本方針」の変更について

Contents

JALもつけ 7月号 2024.7

303
No.

2	第25回通常総代会を開催	11	しもつけ文芸
3	組合員アンケート集計結果	12	直売所通信
4~5	新役員体制紹介	13~14	しもつけインフォメーション
6~7	地区別座談会質疑内容	15	今月のお楽しみ
8~9	みんなのひろば	16	サマーキャンペーンのお知らせ
10	しもつけトピックス		

JA自己改革等に関するアンケートを実施しました

令和6年4月に各地区別座談会に参加された方を対象に「JA自己改革に関するアンケート」を行いました。アンケートの集計結果をお伝えいたします。

アンケート結果

実施方法：R6年4月 地区別座談会各会場にて出席者へ配布、回収

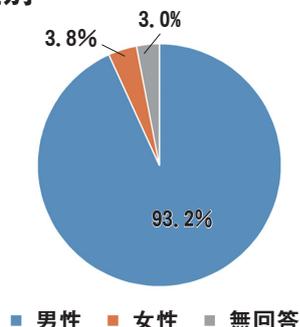
全地区出席者：375名

アンケート回収：266名（地区別内訳：栃木43名、都賀45名、壬生38名、大平44名、藤岡54名、岩舟42名）

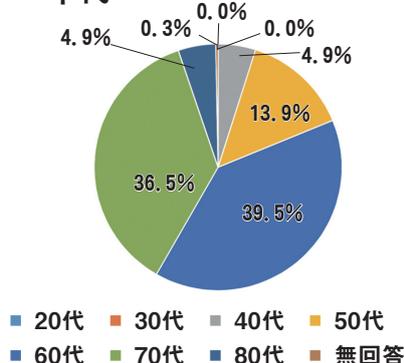
回収率：70.9%

回答者

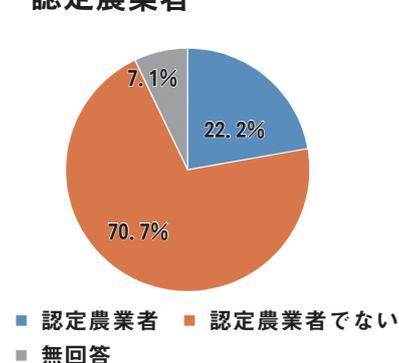
性別



年代

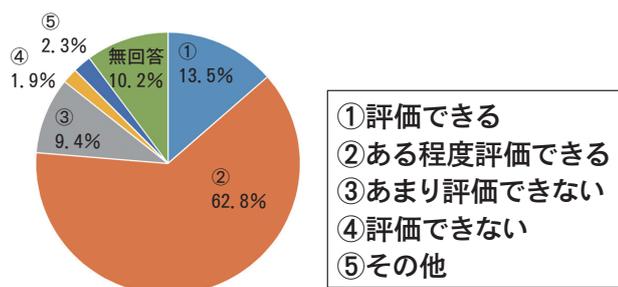


認定農業者



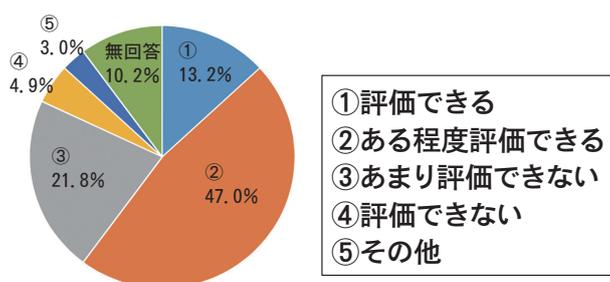
自己改革工程表の令和5年度取組み実績について

Q1. 『農業者の所得増大・農業生産の拡大』について
現時点での評価をお聞かせください



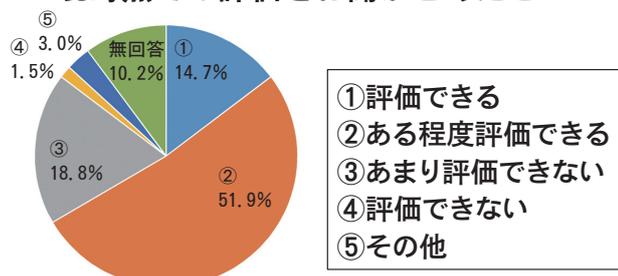
①+② 計203名 76.3%

Q2. 『経営基盤の確立・強化』について
現時点での評価をお聞かせください



①+② 計160名 60.2%

Q3. 『対話・意思反映』について
現時点での評価をお聞かせください



①+② 計177名 66.6%

アンケートへのご協力
まことにありがとうございました。

新体制が スタート

第25回通常総代会にて新役員（理事28人、監事6人）が選任されました。また、5月30日の第3回理事会で各地区筆頭理事・担当理事委員の選任を行い、同時に各委員会の委員長・副委員長が決定しました。

このページでは、各委員会の新役員体制についてご紹介いたします。

代表理事専務
野口 浩志
(岩舟)



代表理事組合長
長 昌光
(栃木)



常勤監事
高橋 輝好
(全区)



常務理事
信用・共済担当
猿山 康弘
(全区)



常務理事
総務・経済担当
柴田 久雄
(全区)



常勤役員

企画総務担当理事

荒川 則夫
(大平)



賀長 勝彦
(壬生・副委員長)



柏崎 克巳
(都賀)



寺内 一雄
(栃木)



荒川 君代
(全区・女性会)



増山 敬之
(全区・青壮年部)



佐山 正男
(岩舟・委員長)



中田 治夫
(藤岡)



営農経済担当理事

平本 勲
(大平)



宇賀神 喜好
(壬生)



関根 光一
(栃木)



寺内 崇浩
(栃木・副委員長)



須藤 勲
(全区・生産組織)



島田 菊市
(全区・生産組織)



菅井 寛
(岩舟・委員長)



五十畑 賢治
(藤岡)



信用共済担当理事

金田 京子
(壬生・副委員長)



渡邊 佳則
(都賀)



毛塚 紀安
(栃木)



馬場 久雄
(栃木・委員長)



国府 貴子
(全区・女性会)



塚田 栄子
(藤岡)



田中 良司
(大平)



森田 栄
(壬生)



監事会

大橋 博
(藤岡・代表監事)



刀川 正己
(壬生)



大塚 和子
(都賀)



石川 美智男
(全区・員外監事)



山中 恵子
(岩舟)



令和6年度地区別座談会で寄せられた主な意見・要望と回答

4月16日の栃木地区を皮切りに、令和6年度地区別座談会を開きました。6地区で合計375人が出席。組合員の意見・要望を今後のJA事業に反映させるために積極的な情報収集と対話を行いました。今回、多数の貴重なご意見・ご要望をいただきました中から、主なものを紹介し、ご報告させていただきます。

主な意見・要望等と回答

Q…意見・要望 A…回答

【宮城部門】

栃木地区

Q 学校給食への食材提供に牛肉も使っていたらどうか。要望したい。

A JAしもつけでは「地元特産品トマト・ニラを使用した食育応援事業」として、年1回食材提供をしております。ご意見いただきました牛肉におきましても、栃木市・壬生町教育委員会と今後実現に向けて協議してまいります。

Q 認定農業者訪問はこれからも続けていきたい。多くの農家の声についても話せるような取り組みをしてほしい。

A 今回の常勤役員による認定農業者訪問につきましては、将来の園芸事業の中心となる新規就農者や若手の担い手、また、農地の対話先として米麦大規模経営体を抽出しての訪問とさせていただきます。今後についても、より多くの農家の声が聞けるよう検討していきたいと思っております。

Q 買取米について令和5年度からインボイス制度が始まり、適格事業者とそうでない事業者で買取に差額が出たと思うが、特例の経過措置に合わせて差額も広がるという考え方なのか。そして、経過措置がなくなったときはどうなるのか教えてほしい。

A 適格事業者とそうでない事業者の価格差は経過措置を加味したうえで、JAが仕入税額控除できない額を限度としています。経過措置がなくなった場合、現時点においては、その差額が拡大するものと考えております。

都賀地区

Q 園芸出荷用段ボール資材高騰対策事業として補助金を出しているが、どの品目について支

出したのか。

A 令和5年中にJAにて集出荷された園芸作物の出荷数量に対して、1枚あたり約6円の助成を行いました。

Q センターの統合でいろいろな不便が生じると思っているが、農繁期の対応、RCの対応、配達料金について説明してほしい。センターの再編など組合員にとって影響が大きいものについてはトップダウンで決定するのではなく、十分に協議をして決めてもらいたい。

A センターの統合では栃木地区、大平地区以外は店舗が設置できなくて申し訳ありませんが、青果物の集荷などは今まで通り各地区で行っており、時期に応じて特定の肥料・農薬などは集荷場に備えております。RCは3名の職員を配置してピーク時には他の職員により支援する体制を取りましますので、ご理解いただきたいと思っております。

Q 肥料農薬については、今までも配達料無料でおこなっており、今後同様の配達を行います。できるだけ不便のないよう取り組んでまいります。

藤岡地区

Q 主催はJAしもつけではないが、耕作放棄地のことで集まりがあった。土地改良をした所のみを問題としていたが、土地改良以外の地目は畑、現況は田の圃場についてJAはどのような考えを持っているか。

A 栃木市が主催の説明会であり、JAの幹部職員にも参加を促し会議に参加している内容については聞いています。JA主催ではないので、土地改良エリア内の放棄地については差し控えますが、この問題についてはどの地区でもご意見をいただいております。JAにはグリーンファームと言う出資法人があり、皆さまより受託している面積は200haを超えており、

エリア内の新たな農地ならば対応はできますが、5km、10km先までは行けない状況であり、今お話があったように土地改良され水も出て今回の5年水張りにも該当せず耕作ができる条件ですが、藤岡地区の赤麻・三鴨・藤岡板倉の境などは、面積も小さく水も入らない荒れた水田がございます。JAが早急に耕作放棄地を改修するのは難しく、今後これ以上耕作放棄地が増えないためには、どうしたら良いか議論に入っております。以前から藤岡地区の役員からも強い要望がでており、専門の担当理事委員会で協議しテーマは大きいですが、しっかりと考えてまいります。

岩舟地区

Q トマト選果場の増築工事費用はどの位かかったのか。過去には農業関連施設を作った増資をした生産組合もあります。生産者に理解をしてもらい増資のお願いもしてもらいたい。

A 建物増築費用は2億1400万円、プラント部費用は、6億7000万円です。

※産地生産基盤パワーアップ事業の活用により、3億3500万円の国庫補助を受けました。確実な施設利用を推進するため、増資はお願いしていません。有効活用を実施いたします。

※プラント更新後の選果料4kgDB@96.8(税込)（前年度利用料から約30円の負担増）

Q 農業生産法人を南部地区に設立していただきたいと要望があると思う。どの程度、準備が進んでいるのか説明をお願いしたい。

A 本日が地区別座談会最終日ですが、都賀地区と藤岡地区より同じような話が出ました。理事会の下に委員会が3つほどあります。企画総務委員会、信用共済委員会、宮農経済担当理事委員会、この担当理事委員会にて今後議論を十分重ねていきます。現在の状況は、事業利益を黒字で確保するというのが直近で厳しくなっております。グリーンファームの設立時は4期赤字でした。仮に準備が整って法人がスタートできる状態でも赤字が出ると思っております。今までの、今のタイミングでないと考えます。準備はできていませんが、今後は委員会で定期的な重要課題として議論していきます。今回の機構再編で宮農振興課の設置により、突発的に農地の相談に来られるとどこに農地があるのかわ

かりませんので、今年度より水田台帳管理システムを導入して筆情報などがとれる状況はとつていきます。

Q 岩舟集荷所のラインは壊れたまま。トマトの選果場は更新したが、岩舟集荷所のラインを修繕してもらえないか。

A ラインの修繕につきましては稼働状況を踏まえ、速やかに検討・対応いたします。

Q 愛菜果のイベントについて、ケーブルTVを利用してPRしたが、一番いいやり方かどうか。今後このようなPRをしていってほしい。

A 今年度本店に産直課を設けましたので良いことは継続してやるように担当部署に指示いたします。

Q みかも山直売所は、商工会が撤退し現在空いている。みかも山公園にはかなりの人が来ているので、うまく話をしてもらって直売所を再開してほしい。

A みかも山の直売所を管理しているのが栃木県の土木事務所です。以前に検討をしたことがありましたが、利用要件等により対応できなかった経過があります。再度検討を行ってまいります。

Q 水田水張り問題について、JAで国会議員に要請するなどして、これまでと同様に助成してもらえないようにしてもらいたい。難しいようであれば、JAで農地がこれ以上荒れないよう考えてほしい。

A JAしもつけにおいても水田水張り問題については、JA栃木中央会を通じて本県選出の国会議員へ要請活動してまいります。また、農地の維持についてはJAだけではなく、地元農業者の協力を得ながら一緒に考えていきたいと存じます。

Q 私はイチゴ農家だが、栃木市は自動ラップ機が補助事業の対象に該当しないが、壬生町では補助事業の対象に該当する。壬生町は財政面で余裕があり、栃木市で同じことができないのは仕方ないことだと思うが、JAとして、栃木市に対してイチゴのまちづくり、栃木のイチゴを宣伝するのであれば行政に対して働きかけてほしい。

A 栃木市へ農業振興推進対策の一環として、市単補助事業の予算措置を働きかけてまいります。

【購買部門】

栃木地区

Q ほっとコーナーがなくなると、資材や肥料などがすぐに買えないと思った。ネット販売などの計画はないのか。

A アグリサポートセンターにお電話いただければ、J Aが配達をいたします。また、緊急の場合には、店舗に在庫があれば当日配達にも対応いたします。

インターネットでの注文については、現在はシステムが整っておらず対応していませんが、全農とちぎとネット店舗開設への協議を行っており、早期実現に向け対応しております。

藤岡地区

Q 藤岡地区、都賀地区においては旧センターで農業資材が全く買えなくなった。できれば駐在員という形で職員の配置をしてほしい。J Aはどのように考えているか。

A 都賀、赤麻集荷場において肥料農薬販売所の許可を申請し、集荷場において肥料農薬を販売できる体制をとっております。十分な品揃えとはいきませんが、必要な時期に必要な商品を置くことで、出荷の際に緊急に必要な農薬等を購入できるように対応しております。

Q 農産物出荷には正しい農業使用が必要。電話で誤った農業を注文して使用すると出荷停止になってしまいますので、そのようなことにならないよう相談できる場所を支店に設けてほしい。

A アグリサポートセンターの営農経済渉外係が対応いたします。各地区に担当者がいますので組合員宅を訪問し適切な説明等の対応をいたします。

Q 農業など電話注文しても納品されるまで時間がかかっている。

A 注文から納品まで、速やかに対応するよう指導してまいります。

岩舟地区

Q 肥料高騰対策について、3月中に配達されたものに補助金が支払われると聞いているが、他地区の知人の話では、補助金の通知は来たが肥料はまだ来ていないと聞いた。組合員に迷惑がかからないようJ Aは対応をしてもらいたい。

A 水稲予約肥料の配達時期については例年4月末までの配達としておりますが、今年は補助

金の関係により3月末までに納品を完了するよう対応をいたしました。しかし、配送に係る人員や車両、倉庫等の物理的な事情により配送の遅れが生じております。緊急対策事業となりますので、組合員に迷惑が及ばないよう関係各所と連絡調整し、速やかに納品できるよう対応いたします。

【金融・共済部門】

都賀地区

Q 農中はJ Aにとつてどのような立場なのか。また、共済事業においても騒がれていたが共済連には責任がなく、すべてJ Aだけが悪くなってしまうのか。経営に割り込むのであれば責任も取るべきではないか。

A 農中は、J Aが皆さまからお預りした貯金を預け入れ、運用後に還元してもらい、J Aと一体的な金融業務を行う組織であります。また、指導機関として健全な金融業務を行う事務指導をJ Aに対して行うだけでなく、さまざまなプログラムを行っており、農中からの収入に頼るだけでなく、自己利益を獲得できる事業についても指導を受けております。

また、共済については、農水省から共済連に指導が入り、監督指針の変更等が行われ、無理な契約の防止などの対策がとられております。当J Aでは以前から職員本位の無理な推進をするのではなく、顧客本位で事業を展開するよう心掛け取り組んでおります。

岩舟地区

Q 年金友の会を4年ぶりに実施したが、4年前は家族も参加できたと思うが、今年は知らないばかりで寂しい思いがした。

A 年金友の会の行事にご参加いただきありがとうございます。平成27年度から平成30年までは組合員の方を対象とした「ありがとう企画」を実施しており、年金の受給に関係なくご参加いただいておりますので、ご家族の方が参加されたのはこちらかと思われます。令和元年度からは年金友の会管内統一旅行として年金受給を対象とした企画を実施しており、令和5年度からはこちらを再開しました。いくつか年金を受給されていまして、当組合に一つでも変更いただければ参加できますので、お知り合いの方にお声掛けいただ

きますようお願いいたします。

Q 農林中央金庫の劣後債について現在どうなっているのか。

A ご質問段階では12億3,100万円の残高となっておりますが、本年度中に全額償還される予定です。

【管理部門】

壬生地区

Q 栃木農業高校への農業実習機械（冷凍庫）寄贈について、令和6年度も計画があれば教えていただきたい。継続して続けることで、J Aもつくと農家の農業経営に役立つことがあるのか趣旨を教えてください。

A 当該寄贈については県内農業高校からの要望に応えるかたちで、次世代農業者（担い手）の育成に貢献することで地域農業の活性化を図ることを趣旨とし、共済連・当組合・県教育委員会の連携により県内8高校に対して実施しました。令和6年度については計画がありませんが、今後も要望があれば応えてまいります。

大平地区

Q 当期剰余金が2億ほど計上されているが、この金額の根拠についてお聞きしたい。

A 剰余金2億円の数字は一時期より下がってきております。県内10J Aに目を向けますと、直近2年から3年は同程度の水準で他J Aも剰余金が出ている状況です。令和6年度は計画値が下がっておりますので、本年度と7年度J Aの経営が厳しいとご覧いただければと思います。

岩舟地区

Q 令和6年度における販売事業総利益を見ますと、昨年度実績より1億円ほど減らしているが、剰余金も減っているのか、何も対策がなく剰余金を取り崩していくのか。

A 剰余金を取り崩していくことなく、令和5年度事業と6年度計画を比較すると、高いものと低いものがありますが、これだけしか剰余金が出てこない計画となっています。決して、販売事業に力を入れない訳でなく、5年度の実績に対し、今年度の計画に組む要因が乏しかったので控えめの計画となっています。自己改革について、農業者の所得倍増及び拡大は担い手と中核を中心にJ Aは考えている

のか。担い手と中核は農業者の7〜8割と前に聞いたが、担い手と中核を中心に考えていけば効率的に改革できると思う、小さな農家に対しても公平に考えてほしい。

A 担い手と中核と書いてありますが、担い手と中核だけでは農業は守れませんので、対象は農業者全員と考えています。

J Aの自己改革ですので、農家の皆さまの生産物をお預かりして販売します。その役割を担うために継続するには、自己改革をして体力をつける必要があります。J Aの事業の中には営農・経済、金融・共済の収益が経営を圧迫するほど下がってしまうことも想定されています。J Aは自己改革をしまし、皆さまのご協力をお願いいたします。家族経営の人をないがしろにする訳ではありませんし、農家として差が出るようなことは決していたしませんのでご理解をお願いいたします。

Q 農業者として、農業新聞、食材、家の光、共済などJ Aに協力しているが、とっている人とそうでない人との格差がないと思う。肥料の大口割引と同じように差があっても良いと思う。

A 平素より多くのJ A事業をご利用いただき誠にありがとうございます。また今回いただきましたご意見につきまして、多くの組合員に今後ともJ A事業を継続してご利用いただけますよう、質の高いサービスの提供に努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

Q 地区別座談会について、昨年こう言う意見があったが、こう改善や実現したとかの報告がない。

A 組合員の皆さまからいただいたご意見ご要望は、広報紙等でご報告させていただきます。

(最後に)

この度は、多くの皆様からの貴重なご意見・ご要望をいただき誠にありがとうございます。今回掲載できなかった内容についても、現在関係部署による対応の検討を進めており、今後のJ A事業運営の参考にさせていただきますので、今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。

岩舟地区・佐山耕基さん

岩舟地区の佐山耕基さん(58)は肉質等級2等級以上に格付けされる県産銘柄牛「とちぎ霧降高原牛・日光高原牛」を常時80頭ほど育てています。そんな佐山さんのモットーは「良い牛で250頭分のパフォーマンスを発揮したい」というもの。そのため、導入する子牛の見極めや免疫力を高める肥育に力を入れています。



佐山さんと肥育する牛



メモ 「とちぎ霧降高原牛・日光高原牛」とは

黒毛和種とホルスタインの交雑牛です。指定を受けた生産者が統一された配合飼料を使って肥育。品の良い味わいが特徴です。

30歳半ばで、父から家業を受け継ぐ形で就農しました。所属するJAしもつけ肉牛部会では副会長を務めています。

佐山さんは「技術力の探求が今の自分を支えている」と強調したうえで「同じことをしていても、同じ結果しか出ない。今後も技術の向上に向けて、意欲的に取り組んでいきたい」と抱負を語ります。



都賀/O・Tさん/83歳/女性

毎月の「しもつけ文芸」のコーナーを読んでいて、自分では短歌を詠むことはできませんし、書くこともできませんが、俳句や短歌に興味があり、大好きです。



文芸コーナーへのご愛顧誠にありがとうございます。文芸作品をお寄せいただくことも、もちろんありがたいことですが、O・Tさんのように「読んで応援」いただくことも、とてもありがたいです。



壬生/K・Kさん/67歳/女性

灯油入れ、精米、庭木のせん定、そして芝刈りと初めてやりました。今まで頼ってばかりでしたが、かなり大変なことだとわかり感謝の気持ちが芽生えました。一つずつできることを増やし、今以上に協力していきたいです。



今まで誰かがやってくれていたことも、自分でやってみることで、初めてその大変さやありがたさを痛感するものですね。だからこそ、K・Kさんがおっしゃる通り、人と人が互いに協力することが大切ですね。

このコーナーでおしゃべりをしませんか。農作業のこと、子育てのこと、介護のこと、またJAについてのご意見など、今感じていることや思っていることをお便り下さい。(掲載できない場合もあります)



笑いヨガ

ボランティアで普及し みんな明るく健康に

みんなの



栃木地区・飯島初枝さん

栃木地区の飯島初枝さん（76）は、地域住民を対象に、ボランティアで「笑いヨガ」の魅力発信に努めています。

飯島さんは、元トマト生産者で、農業に励む傍らJAの女性会活動にも積極的に参画してきました。75歳の時に栃木県シルバー大学校南校に入学。2年間の学校生活を修了した後、同校の講師の勧めで「笑いヨガ」講師の資格を取得しました。

講座は「笑いヨガ」の概要や効能について説明した上で、ストレッチや手拍子や掛け声を交えながら講習を進めます。ユーモアを交えた説明に、毎回会場は明るい笑い声に包まれます。



5月16日に栃木市内で開催した講座では、日本農業新聞「女の階段」コーナー愛読者の会「下野グループ」のメンバーが参加しました。飯島さん自身もこの会に所属して37年となります。（写真左が飯島さん）



メモ「笑いヨガ」とは

「笑いヨガ」とは、笑いと深呼吸を組み合わせた健康体操のこと。笑うことで、多くの酸素を自然に体に取り入れ、心身ともに健康になるといわれる。1995年にインドの医師マダン・カタリアとヨガの熟練者である妻のマチュリー・カタリア夫妻が考案。現在、世界100か国以上で、1万以上のクラブが定期的に活動。

飯島さんは「今後もシニア世代を中心に『笑いヨガ』の魅力を発信し続けることで、社会に貢献したい」と今後に向けて、展望を述べました。

ちょっと聞いてよ

みんひろ井戸端会議



栃木/O・Tさん/19歳/男性

通学の途中で感じたことですが、つい最近まで土と草だった田んぼがアツという間に田植えが済み、青々とした稲が風になびいて、とても気持ちの良い風景です。そして、農家の方々のご苦労に感謝いたします。我が家も農家ですので、休日には、祖母や父母が畑の草退治をしています。

コメント

本当に麦秋から田植の時期にかけての風景の移り変わりは美しいですね。特に、風になびく黄金色の麦や青田風が吹きぬく水田の爽やかさは、毎年この時期の楽しみです。



大平/T・Cさん/80歳/女性

毎年6月に入ると天気予報とにらめっこ。いつジャガイモを掘ろうかなと。今年は、6月4日と7日で大体掘り終えました。そして、一番の楽しみジャガバターでビール。とてもおいしかったです。あとは、子どもたちや親せき、友人に送ったり届けたりと大忙し。でも、幸せな時間でした。

コメント

T・Cさん、ジャガイモの収穫から親類縁者の皆さんへのお裾分けまで一連の工程誠に疲れさまでした。食べ物を分け合うと、おいしさが一層増しますよね。おいしいジャガバターで、ビールも進んだことでしょうね。

今年もブドウのシーズンが始まりました 管内岩舟・大平両地区でハウスブドウの出荷始まる



大平ぶどう組合



岩舟町ぶどう生産出荷組合

今年もブドウの季節がやってきました。当JA管内では、岩舟地区で5月19日にハウスブドウの出荷が始まったのに続いて、大平地区でも同月29日に初出荷を迎えました。

今年産は、いずれの地区も2月の寒暖差や3月の低温により、生育に若干の遅れが出たものの、食味や着色、品質は良好とのことでした。

岩舟町ぶどう生産出荷組合の小林政之副組合長は「燃料や資材の高騰が続く中、品質の良いブドウをより多く出荷することで少しでも単価に反映していければ」と期待を込めました。

また、大平町ぶどう組合の松本和宏組合長は消費者に向けて「当産地のブドウは、生産地と消費地が近いことが利点。この利点を生かした新鮮で高品質、美味しいブドウをぜひとも多くの消費者に届けたい」と意気込みを述べました。

水稻栽培省力化技術現地講習会を開催 JAしもつけ南部アグリサポートセンター



直播作業の実演を見学する参加者

水稻生産者の作業省力化・効率化や農業生産の維持・拡大につなげようと、南部アグリサポートセンターは5月23日、大平地区で「水稻栽培省力化技術現地講習会」を開きました。水稻生産者、生産資材メーカー、JAグループ職員ら35人が参加。あらかじめ消毒処理を済ませた「リゾケア種子」を使った直播栽培による水稻の省力化技術について理解を深めました。

講習会は、リゾケア種子の取り扱いを行う資材メーカー「シンジエンタージャパン」の社員を講師に迎えました。会場は、同地区の真弓南営農集団が提供した水田63aを使用。参加者は、講師から直播専用の多目的田植機用アタッチメントの使用手順や留意点について説明を受けました。また、実際に直播の作業の様子をつぶさに確認していました。

パッチワークタペストリー作り楽しむ JAしもつけ都賀地区女性会



パッチワークタペストリー作りを楽しむ参加者

JAしもつけ都賀地区女性会は6月5日、旧都賀地区営農経済センター会議室で「パッチワークタペストリー教室」を開きました。会員8人が参加しました。

同地区女性会では、パッチワーク教室を定期的に行っています。前回は1畳ほどのサイズを約3年かけて完成させました。「前回習得した技術を活かしたい」との意見があり、今回のタペストリー作りにつながりました。

20cm四方のパーツを6枚作成し、タペストリーにしていきます。1回の教室あたり1パーツを作成し、6日間かけて完成させます。

同地区女性会の手塚政子会長は「全体のバランスを見て配色を決めるのが難しかった。あと少して完成するので、家に飾るのが今から楽しみ」と笑顔で話しました。

ひもつけ文芸

俳句

【渋柿栃木支部】

皴深き二の腕更衣にけり	関口了平
寂庵に風の道行く竹落葉	大出義子
葦原を轆しゆく風遠郭公	田中政子
回覧板まはず径や諸葛菜	熊倉敬枝
黒揚羽鬼押し出しの溶岩の水	川俣ミチ子
要望の孫のスマホや風薫る	関塚トヨ子
野州路を走る息子や青嵐	館野みさほ
柏餅つづ館こし館みその館	下村孝一
濡れ布巾かけて客待つ柏餅	藤沼とし子
麦秋や乗車をこぼむ糶の牛	渡邊きよし
石楠花や勤行に和す高野坊	岩瀬とき子

新割りし頃もありけり柿の花	知久新一
柿の花咲く庭ありし友逝けり	福田千代
杉並木日光街道初夏の風	高橋みち子
子どもらの遊び止まらぬ夏至の夕	森下稲子
土に落ち哀愁そつと柿の花	佐藤榮江

【三杉句会】

早苗饗や疲れ吹きとぶ茶碗酒 大橋正義
 石楠花や朝の諷経(ふぎん)の高野坊
 岩瀬とき子
 休日を過ぐれば里は植田かな 熊倉敬枝

【うづま吟社】

明易や古刹の行の千念呪 黒川弘賢
 群青に明け行く空やほととぎす 大出義子
 短夜の夢の続きを如何にせむ 長澤俊幸
 藍染めの暖簾新たや夏料理 小出典子
 短夜や竹馬の友と山の宿 太島秀子
 さくらんぼピアノのペダルまだ遠く 大関由紀江
 父の日や父情は常に舌足らず 高橋みち子
 麦熟れて立錐の余地なかりけり 島田和子
 孤鷺忌をめぐる古刹や沙羅の花 村田ゆき
 短夜や鴨居を領す蚊食鳥 渡邊きよし
 武家屋敷めぐる知覧の新茶かな 岩瀬とき子



川柳

七月の短冊今年も平和だけ 上岡隆三(藤岡)
 変わる世に昭和の意地を持ち続け 栃木真間事(岩舟)
 山里に七夕竹取り熊注意 黒須笑夢(大平)

短歌

青田風全身に受け菜園の草との戦い今年もはじまる 泉 幸代(栃木)
 ひまわりで予期せぬ手打小滝蕎麦只有 難く目頭潤む 毛塚 雪(都賀)
 喜寿過ぎた夫が敬愛込めて呼ぶ藤井さんとか大谷さんと 木村陽子(岩舟)
 母の日の花プレゼントあやかりて絆に感謝年を重ねる 石川トク(藤岡)

短歌・俳句・川柳の投稿は各支店または本店総務課までとしお寄せ下さい。
 締め切りは毎月8日、一人一首(句)でお願いします。
 作品は楷書で丁寧に書いてください。

お天気カレンダー

梅雨明けの形

子どもたちの夏休みが始まる頃に、鉛色の空から青空に変わり、ギラギラと太陽が照り付ける夏がやって来ます。梅雨明けを境に劇的に天気に変化したという子どもの頃の記憶があります。
 例年、7月後半には各地方で梅雨明けとなります。太平洋高気圧が南から強まり、梅雨前線が北へ押し上げられる形で南から梅雨が明けると、劇的に天気変化することが多いです。
 梅雨前線が弱まり、消滅して梅雨明けすることもあります。梅雨前線が南に下がって梅雨が明けるともありません。この場合、夏の高気圧に覆われていませんが、形にはこだわらず、晴天が続くことで梅雨明けとなります。梅雨前線が消滅する形や南へ下がる形は、徐々に青空が広がり、日に日にじわじわと暑くなっていくイメージです。



近年は、暑い晴天が続いたと思ったら何日も梅雨空が戻るなど、梅雨明けを特定しにくい年も少なくありません。
 気象予報士 ● 檜山 靖洋

直売所通信

JＡしもつけ管内で農家さんが丹精込めて育てたおいしい農産物を食卓へお届けする直売所の旬な情報をお伝えします。



夏到来!! 食でも“涼”を感じましょう♪

7月20日(土)



“真夏の涼味フェア”

21日(日)の

期間中 ポチカポイント3倍

2日間

《開催店舗》 栃木 よっとこれ 都賀 生出宿 壬生 いなばの郷 大平 愛菜果

※取扱い商品は店舗によって異なる場合があります、人気商品のため商品によっては、売り切れてしまう場合がございます。

おすすめ商品

キュウリ



95%が水分のローカロリー野菜!! カリウムが含まれているので、むくみ改善にも効果的♪ 東北には「キュウリビズ」という活動もあり、まさに“夏野菜の代名詞”といえる野菜です♪

ゴーヤ



ゴーヤの苦み成分には食欲増進効果があり、夏バテ気味の体にうってつけの野菜♪ 炒める以外にも茹でて温サラダや酢の物などでもおいしく召し上がれます♪

オクラ



ネバネバ野菜の代表格!! ネバネバ成分ペクチンは腸の善玉菌の餌になり、腸内の不要なものを押し出してくれます♪ 夏バテにはネバネバでネバーネバーギブアップ!!

直売所 食 ニュース

夏の定番そうめん!! 飽き対策のアレンジ“つゆ”レシピ♪

夏の定番そうめん♪ さらりと食べれるそうめんですが、いつも同じ食べ方で飽きちゃったりしていませんか? 今回は飽き対策!! そうめんつゆのお手軽アレンジレシピをご紹介します♪



【直売所に野菜を出してみませんか? 出荷者大募集中!!】

～自慢の野菜をいろんな人に食べてもらいませんか?～

- ◆野菜を作ったけど全部食べ切れない・・・
 - ◆自分の作った野菜に自信がある!!
 - ◆おいしくできた野菜をみんなに食べてもらいたい!!
- そんな方におススメ!! 一緒に栃木の“農”を盛り上げていきませんか?
生産規模の大小や、品目の数は関係ありません♪
興味のある方はぜひご連絡ください!!

営農経済部 産直課 0282-20-8828
栃木、壬生地区担当 熊倉 久徳
都賀、大平地区担当 中田 佳佑

中華風あっさりつゆ

いつものめんつゆに、中華だしの素、ごま油、いりごまを入れるだけ!! お好みでキムチや千切りキュウリを入れてもGOOD!!

トマトたっぷりつゆ

めんつゆに細かく刻んだトマト、オリーブオイル、シソ、レモン果汁をいれて洋風アレンジ♪ シソをバジルに変えるとさらに洋風になります♪

アレンジ無限大!! 白だしつゆ

白だしだけでもおいしく頂けるそうめん♪ シンプルな味付けですが、土台がしっかりしているので、様々なアレンジができます♪ うどんのようにお好みの具材を乗せてぶっかけそうめんでもGOOD!!

ポチカ会員限定

＜お買い得情報＞



さっぱりと漬物が美味しい季節になりました♪

A コープ商品

「らっきょう酢・たまり漬けの素」期間中特別価格で販売

キャンペーン期間：9月30日(月)まで

7月のポチカポイント3倍デー



7月10日(水)・13日(土)
24日(水)・27日(土)

休日ローン相談会 のご案内

マイホームの新築・購入、リフォーム、他金融機関からの住宅ローンのお借換などご相談承ります！マイカー、教育資金のご相談も承ります！！お取引はこれからというお客様もお気軽にご相談ください

日時および会場

アプロニー2階
ローン相談コーナー

栃木市河合町3-26

お問合せ:0282-24-1084

毎月第4日曜日
9:00~16:00

JAしもつけ

年金相談会のご案内

無料

何歳からもらえる
手続きは
どうしたらいいの？



年金についての疑問・質問に、専門の社会保険労務士が無料でご相談をお受けします。

日時および会場

栃木西支店

令和6年7月28日(日)
栃木市吹上町1183-3
TEL(31)1794

9:00 ~ 15:00



※予約が必要な場合がありますので事前に各支店にご連絡の上お越しください

ご相談にお見えの際は下記のものをご持参ください。

年金証書 年金手帳 印鑑

その他、年金に関する資料をお持ちいただければ、より具体的な相談ができます。

2025年度 JAしもつけ職員募集のご案内

1. 採用予定者数

- 大学・短大・専門学校卒業見込者または卒業者…15名程度
- 高校卒業見込者または卒業者…5名
- 社会人経験者…若干名

2. 応募資格

- 大学・短大・専門学校・高校卒業見込者または卒業者及び社会人経験者
- 平成元年(1989)年4月2日以降に生まれた方
- JAしもつけ管内またはその近郊に居住の方(居住予定者可)

3. 筆記試験日

- 大学・短大・専門学校卒・社会人
応募書類受領後、WEBにて行います。
- 高校卒 令和6年9月20日(金)

4. 願書受付期間

- 大学・短大・専門学校卒、社会人
マイナビ、リクナビ上で定期的に説明会を実施しています。
参加者に対して、願書受付をしていますので、ぜひご参加ください。
- 高校卒
令和6年9月5日(木)~令和6年9月9日(月) 必着



あなたの力を
JAしもつけで発揮して
みませんか？

応募書類の提出や選考について、
LINE公式アカウントで配信しています。
ぜひ「友だち追加」をお願いします。
登録はこちらから →



詳しくは下記までお問い合わせください

〒328-0053 栃木市片柳町2-1-44
下野農業協同組合 企画総務部 人事課
TEL0282-24-1181
【Eメール】s-jinji@ja-shimotsuke.or.jp

詳しい募集内容については、JAしもつけ採用HPをご覧ください。
また、マイナビ・リクナビ上にも情報を掲載していますので、エントリーをお願いします。



【採用HP】



【マイナビ2025】



【リクナビ2025】

7月 しもつけインフォメーション

第3回 理事会報告

日時：令和6年5月30日（木）
午後1時30分より
場所：アプロニー2階 会議室

- (1) 4月末実績検討について
- (2) 令和5年度下期監事監査改善回答書について
- (3) 地区筆頭理事・担当理事委員の選任について
- (4) 行政庁提出用業務報告書添付資料について
- (5) 役員賠償責任保険契約の締結について
- (6) 文書管理規程の一部改正について
- (7) 令和6年度肥料・農薬大口利用農家の登録拡大について
- (8) 信用供与等の最高限度について
- (9) 借入金の最高限度について
- (10) その他

「農業総合研究センター」発足

本年度、農業試験場と農業環境指導センターが統合し「農業総合研究センター」となりました。研究開発と環境分野の調査・指導業務を一元的に行う新たな組織となります。

農研センターでは、引き続き、オリジナル品種の開発をはじめ、収量・品質の向上や省力化、環境負荷低減など次代を見据えた研究開発を進めていきます。

親しみを込めて「農研センター」と呼んでください。

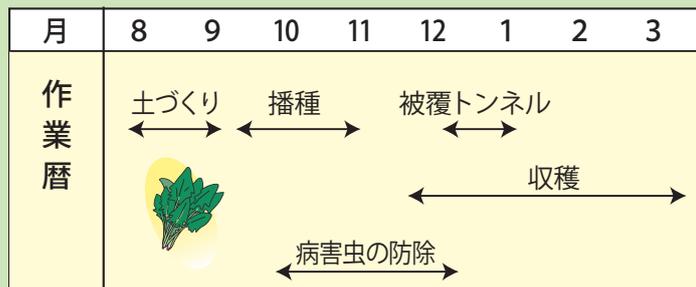


ほうれん草新規栽培者募集

JAしもつけでは、ほうれん草栽培に興味のある方を募集しています！



栽培体系



栽培講習会を実施予定ですのでご連絡ください。

藤岡：7月下旬 壬生：8月中旬

- 生産者数：藤岡10名 壬生6名
- 10aあたりの販売金額：約40～50万程度
- 平均単価：400～450円/kg
- 重い作業がないため女性でもできます。



●お問い合わせ先：JAしもつけ南部アグリサポートセンター（ほうれん草部会事務局：古澤）☎0282-43-0800
JAしもつけ北部アグリサポートセンター（ほうれん草部会事務局：中川）☎0282-27-6511

7月 今月のおっ!楽しみ

このコーナーでは、地域で活躍する皆さんの紹介や大好評「クイズコーナー」、広報誌の編集担当者がチラッと語らせてもらう編集後記をお送りいたします。



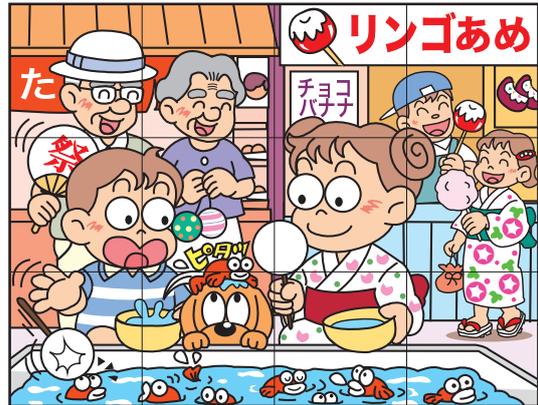
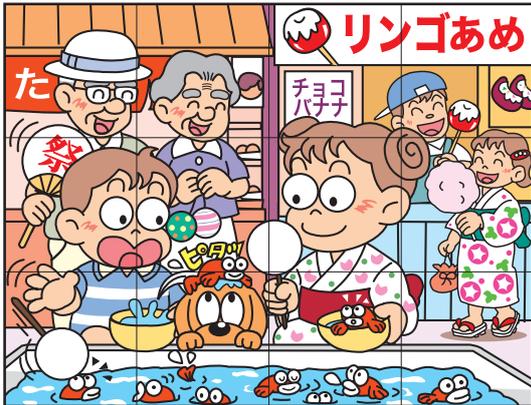
手刈りしたビール大麦を「千歯扱ぎ」で脱穀する参加者親子

麦刈り体験で参加者は、麦刈り用の鎌を手に同会のスタッフの指導のもと1株ごと丁寧に麦を刈りました。その後、刈り取った麦の穂を昔の脱穀機である「千歯扱ぎ」で脱穀した上で、「唐箕」にかけて選別しました。会場には、作業を楽しむ参加者の笑い声があふれていました。

栃木地域におけるビール大麦の契約栽培の導入・普及に貢献し、「ビール麦の父」と呼ばれる田村律之助の功績を称え、発信する「田村律之助顕彰会」は5月25日、大平地区で「麦秋ツアー・親子麦刈り体験」を開きました。地元内外から親子連れら57人が参加し、ビール大麦の収穫体験や昔の農具活用体験などを通じて、同地域のビール大麦や地域農業に対する理解を深めました。

「ビール麦の父」ゆかりの地で「麦秋ツアー・親子麦刈り体験」を開催
田村律之助顕彰会

まちがい探し



出題●イラスト：酒井栄子

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



6月号
クロスワードパズルの答え

A B C D
ナ ガ グ ツ

「読者からのお便り」「まちがい探し(クロスワードパズル)」へのご参加お待ちしております

お便りをいただいた方に抽選でステキな商品を差し上げます。ハガキ・封書での郵送、ファックス、Eメール、あるいはJA職員にお渡しください。締切は毎月20日(20日が土・日・祝日の場合は、その次の営業日)必着。なお、感想やコメントは『読者からのお便り』に使用場合がありますので、ご了承の上ご応募ください。

6月号の
当選者

6月号の当選者はこちらの方です。おめでとうございます。

大賞 大貫 隆弘さん(栃木)

【あて先】
〒328-0053 栃木市片柳町2-1-44
JAしもつけ総務課 広報係

【FAX】0282(24)7882
【Eメール】hp-info@ja-shimotsuke.or.jp

- ①「おたのしみコーナー」の答え
- ②「読者のお便り」へのコメントや広報誌の感想、最近思う事
- ③郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号をお忘れなく

JAしもつけ
令和
6年度

サマーキャンペーン



募集総額
30億円

取扱期間

令和6年6月3日 ▶ 令和6年8月30日

金利上乘せ定期貯金



新たな資金でのお預け入れに限ります

20万円以上の新規資金・当JA組合員個人の方(新たに加入された方も含む)

期間 1 年

期間 2 年

年 **0.25** % 年 **0.30** %

(税引後 年0.199%)

(税引後 年0.239%)

JAしもつけ

栃木駅前支店 TEL.0282-20-8821 栃木東支店 TEL.0282-27-2525 栃木西支店 TEL.0282-31-1794
都賀支店 TEL.0282-27-5611 壬生支店 TEL.0282-82-1111 大平支店 TEL.0282-43-2344
藤岡支店 TEL.0282-62-4333 岩舟支店 TEL.0282-55-3333 金融共済部貯金為替課 TEL.0282-24-1183
JAは農家以外の方でもご利用いただけます。詳しくは最寄りの支店窓口へ。

編集
後記

先月号の編集後記で梅雨の話を書きましたが、今この文章を書いている6月20日現在、関東地方ははまだ梅雨入りしていません。今年の梅雨入りは結構遅れそうですね。「これも地球環境の変化が影響しているのでは」とよからぬ心配をしてしまう今日この頃です。(編集担当T)

No.303

令和6年7月1日発行 下野農業協同組合

編集・発行／企画総務部 総務課

〒328-0053 栃木市片柳町2丁目1番44号 ☎0282(24)1180